

東京ブランチャ 40 周年記念ウィークエンド



1月19日～21日、鎌倉プリンスホテルにおいて東京ブランチャ40周年を記念するウィークエンドが開催され、スコットランド、オーストラリア、青森・九州を含め各地から98名が参加し、ジム・ストット&クレメント篤子さんの指導で新しいダンスを講習しました。そしてフィドル・大森ヒデノリ&ピアノ・小海弘子さんの音楽が、夜のウェルカム・ダンス、ポールはもちろんクラスでも常にあり、大いに参加者を楽しませてくれました。4年ぶりに旧交を温めることができ、記念行事を盛り上げていただいた皆さまにお礼申し上げます。(p.5 に関連記事あり)

ブランチャ・クラス

千代田区立スポーツセンター多目的室

3月24日(日) 1:30-4:00 講師 有田 典和

4月21日(日) 1:30-4:00 講師 浅井 恵子

お問合せ: 担当 渋谷明美 047-351-8581 or

寺久保ヒロ子 03-3801-6139

2024 年度会員登録のお願い

2024 年度会員登録の時期となりました。本年度のRSCDS 会費は¥5,500、東京ブランチャ会費は昨年度と同額の¥2,500です。くわしくは同封の「会員登録更新のお願い」によりますが、概略下表のとおりです。ゆうちょ銀行通
常貯金口座にご送金ください。

締切り: 3月末日

2024-25 年度運営委員募集

2024-25 年度の東京ブランチャ運営委員を募集しています。ブランチャ運営を手伝ってもよいという方は、遠慮なく現委員(だれでも)にご連絡ください。

東京ブランチャから本部登録 他ブランチャから本部登録

ブランチャ出版物を紙版で受取る
ブランチャ出版物をメールで受取る

¥8,000

¥2,500

¥7,200

¥1,700

本部オータム・ギャザリング報告

－ クレメント篤子 －

11月3日～5日、グラスゴーにおいて年次総会 AGM とその前後にボール、クラスを含む本部オータム・ギャザリングが開催されました。以下はクレメント篤子さんの報告です。

まず、178 票対 64 票で£28 の会費が可決されました。

ロンドン・ブランチ、エディンバラ・ブランチなど多くの会員を擁するブランチは、ただでさえ会場費の高騰に伴いクラスやダンス参加費が高いため、会費値上げに反対でした。64 票の反対は無視できない数ではないかと思えます。エディンバラ・ブランチではロンドン・ブランチと話し合いを持ち、今後の対応を検討したい意向です。できれば東京ブランチにも声を掛けたいと言われています。

2023 年の功労賞 Scroll of Honour 受賞者は次のとおりです(カッコ内推薦ブランチ)。

小山芳樹(東海ブランチ)

Ken Martlew -(Herts and Borders Branch)

Sue Duckett -(Cheshire Branch)

Patricia (Trish) Nicolls -(Sydney Branch)が受賞されました。

AGM はチャールズ国王からの祝辞で 11 月 4 日 (土) 午後 2 時過ぎに始まりました。

チェアマンが、ソサエティが 100 年を迎えられたことにしてそれを支えた過去の全ての方々への感謝を述べ、これからもみんなが"Have fun"ダンスを楽しもう!と強調しました。

RSCDS 憲章改正には 75% の賛同が必要とのことで、

・ Chairman を Chair と呼ぶことに関する項目は賛成 230、反対 8、保留 2 で通過しました。

RSCDS 規約上 の言葉の変更は 50% の賛同が必要。

・ Chairman and Chairman Elect → Chair and Chair Elect に伴う変更は、賛成 254、反対 2 で可決されました。

役員会メンバーの選挙 (3 years) - Heather Cowan, Evelyn Redmond and Eileen Yates, Clare Grycuk (2 years)

委員会メンバー -

教育訓練委員会 - Gail Inglis

次期会員サービス委員長 - Jeremy Hill

次期ユースサービス委員長 - Linda Williamson が無選挙で任命されました。

ユースサービスの委員には、Beth Fairbairn & Lucy Phillips が当選しました。

総会は、次回 Sat 2nd Nov 2024 エディンバラで開催されることが確認され、15:50 終了しました。

Autumn Gathering はグラスゴーのケルビン・ホールで 2023 年 11 月 3 日 20 時からのソーシャル・ダンスで始まりました。ハワイ・ブランチ作成のポピュラーな新旧のダンスが上手く組み合わせられたプログラム、ユウアン・ギャロウェ 6 人編成の素晴らしい演奏、踊り易い木の床の会場で 23:30 まで大いに楽しむことができ盛会でした。

土曜日の朝は"Meet the Board" ということで 9 時半から一時間のセッションだったのですが、ボードのメンバーが紹介された後個人的に自由にそれぞれのメンバーに質問する・・・というものでした。全体で質疑応答を期待していたので、これは期待外れ。気楽に話ができるということは一つの試みかもしれませんが、アプローチして話をしようとしても内容によっては話を避けたいようなムードも醸し出すメンバーもおり、参加者の人数が多かったため参加者同士で「お喋り」で終わった感も強かったです。

General class は Andrew Nolan (teacher) and Angela Young (musician) で 1 時間半のクラスでした。

Wine reception & Ball 19:00 - 23:30 (Glasgow Branch 作成のプログラム、Luke Brady SCD Band)

Sunday 5th Nov:

09:30-10:30 Ideas and Best Practice for Branches in encouraging membership

09:30-10:30 Meeting for new Board and Committee members

10:30-12:00 General Class - David Queen (teacher) & Susan MacFadyen

で終了しました。

今年はグラスゴー・ブランチの 100 年記念の年でもあり、Glasgow Branch demonstration team のデモもありましたが、

アナウンスが明確ではなく最初の部分を見過ごしてしまいました。全体としては、100 年記念という印象はあまり強くなくカジュアルで少し気抜けした感がありました。でもダンスはいい音楽で大いに楽しめました。

最近の本部ニュース

- ・役員会と会員・各ブランチとの意見交換の場がないという不満を和らげるため、役員へのヘザー・コーワンが東京ブランチ担当に任命された。東京ブランチが本部運営に質問・疑問・意見があればヘザーに連絡すること



とになる。

- ・Book 53 はサマースクールで売行き好調で、しかも各ブランチからのまとまった注文があり、ブック、CD とも売切れた。増刷分は12月末に発送する。
- ・サマースクール2024の申込み受付を12月末から開始した。1週間の参加費は昨年よりも約4%値上がりしている。早期割引は2月末まで。
- ・2024年にBook 54を発行するかを含め、2024年のプロジェクトを議論した

ヘザーからのメッセージ (2024.1.9)

「年頭の地震と津波により、人命・インフラ・自然の損失が続いていることをニュースで見て、本当に気の毒に思います。救援を支えようとして亡くなられた航空機事故も。この災害でRSCDS会員に直接的な影響のないことを東京ブランチから伝えられ、うれしく思います。40周年イベントの成功を祈ります。

お問合せのBook 54ですが、会員サービス委員長のアンジェラ・ヤングに確認したところ、Book 54は2024年でなく、2025年発行の予定とのこと。みなさんによろしく」

運営委員会報告

2023.11.3 (港区生涯学習センター。以下同じ)

- ・Weekend 2024の申込数は58名。2回のダンス会のプログラムを決定した。申込者へのパンフレットを12/18に発送予定。
- ・2024年3月のUnit 1試験は、締切りの12/2の受験申込者の人数を確認して会場予約の準備を行なう。受験申込者には受験案内、受験申請書の記入例などを送付する。
- ・11/19日のブランチ・クラスは講師クレメント篤子さんが来日延期となったので、トム鳥山に変更し、ホームページなどで知らせる。
- ・マガジン37号日本語版は12/18に発送できるよう準備を進める。
- ・ブランチ・ショップあっせんのプレトリア・ブックは途中で行方不明になったと思われる、「確実な輸送方法で」の条件をつけて再注文する。

2023.12.1

- ・Weekend 2024の参加申込数101名。諸資料は電子メールでなく、郵便で発送する。通訳とMC候補を挙げ、了解を得ることにする。委員集合は19日11am。
- ・Unit 1試験の申込みあり、準備を進める。
- ・再注文したプレトリア・ブックは、輸送方法を国際宅配便と指定することにより現地発送から1週間弱で到着、申込者に送付した。
- ・マガジン37号は原文で4ページ増えており、日本語版もそれに合わせて増ページとなるので印刷費が増える見込み。

- ・2024年秋に杉並公会堂グランサロンでブランチ・ダンス会を行なうことにし、予約など準備を進める。

2024.1.5

- ・Weekendの参加者は98名に。通訳・MCが決まり、2日目にセレモニーを行う。大井さんのタペストリーが装飾できるかホテルに問い合わせる。ダンス会の進行はMCに一任のヤンガーホール形式とする。
- ・3月9日のUnit 1試験は受験申込みが取り下げられ、実施しないことになった。
- ・6月上旬にブランチ年次総会を予定。夏にBook 54発行の気配もあり、その場合9月初めに講習会を予定。
- ・9月の100年記念ダンス会の報告(辰巳由利子さん作成)を本部に提出した。

2024.2.2

- ・Weekendは概ね好評で2~3年後にまたやってくれという声あり。床が滑ったという人(2名)もいれば、木の床で滑らずによかった(3名)という感想も。大概算で支出6.6百万円、参加費収入5百万円、差額はブランチ会計から拠出。横断幕とバースデーケーキ準備に思い及ばなかったのはチェアマンのミス。
- ・2023年度ブランチ賞は西森典子さんに。
- ・2月4日の3ブランチ三役会議にむけ、2024年度本部会費額について東京ブランチの提案をきめた。
- ・2024年度会員登録手順は前年度に準じる。
- ・今年度ブランチ・ショップはいろいろな目算違いがあったが、収益は計画を上回る見込み。

クラスで踊られたダンス

11月19日 トム鳥山

The Clansman	32R	Book 32
The Jacarandas of Buenos Aires	32S	Stott
The First Rain of Spring	32J	Book 49
The Jacaranda Tree	32R	Smith
Ysobel	32S	Book 53
Antarctica Bound	32J	Scotia 100th

12月17日 寺久保ヒロ子

Fight about the Fireside	32R	Book 1
EH3 7AF	32J	Book 40
Miss Ogilvie's Fancy	32S	Book 20
Toast to the Mousies	32R	Book 53
Gardeners' Fantasia	32S	Book 46

1月28日 渋谷明美

The Buttercup	40R	Perth 800
Cape Town Wedding	32S	Book 39
John of Bon Accord	32R	Book 33
Ready Aye Ready	32R	Horne/Grimsey
The Rose Garden	24S	Wendell

ダンス会はよい音で

「踊りは音楽を体で表したものだ」とはミス・ミリガンの言葉です。とすれば、よい音楽・音響で踊ればよりよいダンスができるかも。日頃からダンス会場の音響に注目し、よい音質で踊りたいと、このほど清水豊さんが小冊子「高品質でダンス会場の隅々まで届ける—音響機材の設置と運用方法」をまとめられました。音響を気にしていない人も多いのですが、清水さんの小冊子はよい音を響かせるにはどのようにすればよいか、ヒントがたくさん述べられています。興味のある方は清水豊さん

yutaka.shimee@nifty.com にご連絡を。

Unit 1 試験の新受験要領

ティーチャー資格取得の第1関門はUnit 1 試験（筆記試験）ですが、本部業務の電子化に伴ってこのほど受験も電子データを大幅に取り入れたやり方になりました。おもな新要領を以下に述べます。

- ・受験申請は電子データでのみを受付けるとしており、パソコン、インターネットを使える人が受験できる。
- ・受験希望者は個々に受験申請書・受験料を本部に送る（いままではJECがまとめていた）。
- ・試験場にマニュアルの持込ができる。
- ・オンラインで受験できる（この場合、設問と解答は英語）。
- ・受験することを所属グループに伝える。
- ・本部への受験料が£25 から£35 になった。日本語で受験する場合は別途翻訳料が求められる。

次回試験日は2024年10月12日（土）ですが、日本語による設問・解答を希望する場合は、その12週間前に本部への連絡が必要のため、7月6日（土）までにセクレタリに受験希望をご連絡ください。

義援金を石川県に

1月1日に発生した能登半島地震で被害を受けた方々のために、40周年記念ウィークエンドで義援金を募金し、参加者のみなさんのご厚意（5千円札が2枚も！）とサイレント・オークション売り上げ全額を合わせ、¥38,120が集まりました。これにランチ会計から¥11,880を加え、合計¥50,000を2月6日、石川県庁に寄付しました。

2022-2023 年度委員会

チェアマン	鳥山豊喜	044-577-5231
セクレタリ	小杉由美子	047-463-8520
トレジャラ	境 雅子	047-368-3873
委員	大野宏子（ランチショップ担当）	042-576-9587
委員	寺久保ヒロ子	03-3801-6139
委員	渋谷明美	047-351-8581

CDにトラック収録洩れ

12月に2枚組CD、Auld Friends Meetをご注文した方にお送りしました。1月になって、CD #2は15トラック収録されているはずなのに、最後のトラック15が入っていないとの連絡があり、購入者全員にあたったところ、すべてのCD #2にこのトラック未収録が分かりました。

発売元のスコットスコア社に善後策を要請したところ、「完全版21枚を無償で、送料もスコットスコア社持ちで送る」との回答を得、1月末に購入者全員に完全版をお送りしました。

12月に入手したものは増刷ロットで、その製作時、器械操作を誤ったものと思われます。不満のない形で解決しましたが、トラック収録洩れとは珍事案でした。

安全・健康・好運を祈願



運営委員会は1月5日、新橋・鳥森神社に参拝し、行事の安全・会員の健康・会場抽選の好運を祈願しました。

ランチ行事予定

6月2日（日）午後	年次総会&ソーシャル・ダンス （赤羽会館小ホール）
11月4日（月・休）	秋のソーシャル・ダンス （杉並公会堂グランサロン）
2025年1月	New Year Dance 2025

東京ブランチ 40 周年記念ウィークエンド（つづき）

RSCDS チェアからのメッセージ

東京ブランチのみなさんへ

東京ブランチ創立 40 周年にあたり、みなさんに心からのごあいさつを申し上げます。

妻のリンダと私は、数年前にみなさんと一緒に過ごした思い出があり、みなさんの温かい歓迎、日本での素晴らしいダンシングと音楽をいつまでも懐かしがることでしょう。

私はみなさんが特別なウィークエンドを過ごされ、ジムの講習を楽しまれると確信しています。

RSCDS が次の世紀を迎えるにあたり、日本のダンサーやミュージシャンが、このもっとも楽しいレクリエーションを広めるために果たした役割を、心からの感謝の気持ちとともに認識したいと思います。

地理的にスコットランドから遠く離れているとはいえ、みなさんは私たちの素晴らしい国際ファミリーの一員なのです。

次期チェアのガリー・コール、役員会一同、そして世界中の RSCDS 会員を代表して、この特別な催しにお祝いを申し上げます。

O-genki de

ごきげんよう

ウィリアム・ウィリアムソン

演奏で、かくし曲

小海弘子さん・大森ヒデノリさんの素晴らしい演奏で 3 日間を楽しみました。雰囲気をさらに盛り上げるため、ソーシャル・ダンシングの場でつぎの曲が演奏されましたが、みなさんはお気づきだったでしょうか？

The Irish Rover で「It's a Small World」

Bill Clement MBE で「Comin' through the Rye」

Sands of Morar で中島みゆき「麦の唄」

Miss Gibson's Strathspey で唱歌「鎌倉」

同じく八代亜紀「雨の慕情」



The Wild Geese で大森さん、小海さんとジムの連弾

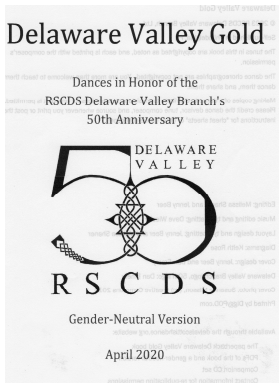


ホールにおけるダンシング

講習ダンス

1 月 19 日	Jim Stott	1 月 20 日	クレメント 篤子	1 月 21 日	Jim Stott
Toshogu Shrine	8x32J	Snowball Mixer	4 x March	Guid tae see You	4x32 RTR
The Nikko Falls	4x32R SQ	My Golden Bear	4x32J	The Insurance Man from BA	8x32R
The Koi Medley	4x32 M	Atholl Anniv S'pey	4x32S	Florida Street "Cambio Cambio"	8x32S
Aberdeenshire meets	3x32S	The Castle Keep	4x32R SQ	Dancing the Baby	S72+R72
Argentina		Triangulation	3x32R TRI	The Ladies of Banffshire	3x32S
				Craigievar Magic	4x40 RTR

コマドリとヒバリ —ジェンダー・ニュートラル—



性中立版ブック

RSCDS マニュアルでは、ロングワイズ・セットでは「トップに左肩を向けているのが男/man」、スクエア・セットでは「サイドバイサイドで、女/woman はパートナーの右に立つ」と述べている。マニュアルでは man、woman という言葉で男・女のどちらに属するかを決め、踊り方説明書きで男は男の、女は女の役割を演じるべきとしている。

地球沸騰化阻止と同じように、ジェンダー・ニュートラル/性中立は世界的な流れである。RSCDS も、ハイランド・ダンシングおよびステップ・ダンシングからそれぞれメンズ、レディスを外しており、規約の「チェアマン」を「チェア」に変更した。男性2人がカップルで踊るヤンガーホールデモビデオもある。しかしながら、いまのところ man、woman に代わる適切な性中立用語はなく、これをどう変えたらよいか本部/教育訓練委員会は思考停止の状態にあると思われる。また、マガジン 37 号東京ランチ版 p. 21-22 に、カナダ TAC サマースクール会議で man、woman の呼称変更が話し合われたが、結論は出なかったとある。

米国デラウェア・バレエ・ランチは数年前から性中立を推進し、man、woman に代わる用語をクラスや全行事

で使っているという。男であろうと女であろうと、どちらの役割を演じるかはその人の自由であり、man、woman の用語はなくすべき、というのが同ランチの考え方である。デラウェアでは男、女とせず、robin ロビン/コマドリ、lark ラーク/ヒバリとしている。ロングワイズの場合、トップに左 (L) 肩を向けているのが lark、右 (R) 肩を向けているのが robin である。概略はつぎのとおりである。

従来の用語	デラウェアの用語
Woman	Robin
Man	Lark
Women's Side	Robins' Side
Men's Side	Larks' Side
Ladies' Chain	Robins' Chain
Men's Chain	Larks' Chain

同ランチが 50 周年記念で出版した Delaware Valley Gold ブックには 2 種類あり、1 つは従来用語版、もう 1 つは性中立版である。LGBTQ のダンサーにとっても、コマドリ、ヒバリは受け入れられると思う。性中立を突きつめれば、今日はラークで踊り、来週はロビンで踊るという、日本のベテラン女性ダンサーがふだんやっている様式が、全世界の SCD 界で取り入れられることになるだろう。

しかしながらロビン、ラーク呼称も性中立用語の 1 つの案であり、RSCDS 本部がこれを採用するかどうかはまったくわからない。それまで man、woman は単なる符号として考え、どちらのサイドにおいても役割を演じることができるよう、とくに日本人男性は経験を重ねるべきと思う。〔トム鳥山〕

ダンス名のうしろにあるもの (10) by Peter Knapman, Dance Scottish at Home, Issue 11, 6/6/2020

Cutty Sark – RSCDS Book 40

Original Tune – Thrums (Traditional)

物語詩・帆船・ウィスキー

物語詩

タム・オー・シャンター Tam o' Shanter はロバート・バーンズのもっとも有名な物語詩の 1 つで、エアシャーの農夫、タムのやりすぎを描いている。ある日タムは飲んだあと、嵐の中を家に戻るところで、酔いにまかせアロウエーの教会廃屋で魔法使いたちの踊りをのぞき見する。タムの目を引いたのは、魔法の 1 人、カティ (短い) サーク (下着) をまとったナニーで、彼は自分を抑えることができず、思わず「いいぞ、カティサーク！」と言ってしまう。

詩は「そして一瞬にして闇になった」と続き、魔法使いの呪文は効かなかったが、タムは魔法使いたちに追いかける。魔法使いは川を渡ることができないので、ブリガドーン (Brig o' Doon ドーン川の橋) の真ん中に着けば助かる。最後の最後にナニーは突進し、タムの乗馬、マギーのしっぽをつかむ。「かわいそうなマギーは付け根まで抜かれた」。タムは助かったが、いくらかトラウマが残った。

There is of course a moral to the story for those who are maybe fond of a drink or two.

‘Whene’er to drink you are inclined
Or cutty sarks rin in yer mind
Think ye may buy the joys oe’r dear
Remember Tam o’ Shanter’s mare’



もちろん、この物語にはおそらく、1、2杯飲むのが好きな人への教訓がある。

「飲むときはいつでも心に留めよ
でなければカティサークを頭に浮かべよ
飲みたさを上回る喜びが得られるかもしれないと思え
タム・オー・シャンターの悪夢を忘れるな」

クリッパー（大型快速帆船）

短いドレスを着た魔女についてのバーンズの詩は、多くの人の想像力をとらえ、その中に世界でもっとも有名なクリッパー（大型快速帆船）の建造グループがあった。19世紀、中国からロンドンへの紅茶輸送、特にその年の新茶を最初に市場に届けると、大変に儲かった。スピードが重要であった。19世紀初頭から蒸気船が普及していたにもかかわらず、帆船はいまだ好ましい手段として維持されていた。当時の蒸気船は低速であり、燃料用石炭を積むくらいならそのスペースに紅茶を積んだ方がましという理由からであった。

1869年（土方歳三が箱館で戦死した明治2年）、カティサーク号が進水したとき、クリッパーを建造する技術は十分に確立されており、以前の帆船設計の経験がこのすばらしい船に組み込まれた。作家チャールズ・ネピアン・ロングリッジの言葉によれば、「彼女は、以前にあったすべてのクリッパー船を理想化した船であった」。

魔女にちなんで名付けられたカティサーク号のスタートは、問題のあるものであった。ハーキュリーズ・リントンが彼女を設計し、建造契約はダンバートン（グラスゴーの西10km）のスコット&リントン社との間に締結された。だが同社は財政難にあり、隣の造船工場ウィリアム・デニー&ブラザーズ社が船を完成させることになった。カティサーク号の進水台はいまなお使用されており、サンドポイント・マリナーの一部になっている。1870年にカティサーク号は中国・ロンドン間の紅茶輸送に就航し、2億杯分の紅茶を運んだ。その積み荷の価値は27万2千ポンド、現在の金額換算で1千8百万ポンド（36億円）に相当する。

初期の帆船はふつう8ノット（時速15km）の速度であったが、クリッパーは19世紀に特に速度を念頭において開発された。クリッパーという用語は、古い英語の「clip」クリップからきており、素早く走ったり飛んだりすることを意味する。カティサーク号の設計は、船体の形状から帆の設計にいたるまで、当時利用可能なすべての最新帆船技術を採用した。外皮は木材と銅板のサンドイッチ構造で、これを支える鉄のフレームを持っていた。この方法は、強度を増大し、より大きな積載重量、走行抵抗の低減をもたらすものであった。カティサーク号が進水するころには、従来の帆船を超える速度もつクリッパーを、上手に操る技術が確立されていた。カティサーク号の船首像は、バーンズの詩にあるとおり、マギーのしっぽをつかんでいる魔女ナニーを表している。公序良俗のため、ナニーの下着は長くなっているけれども。



カティサーク号



船首像

1860年代には、どのティー・クリッパーが一番早くロンドン港に戻ってくるかのレースがあり、勝利するとかかなりの名声が得られた。カティサーク号が進水するころには個々の船間で非公式のレースが行われていた。1872年、そのようなレースの1つがカティサーク号とライバルのテルモピレー号の競争であった。2隻の船は同時に中国を出帆し、カティサーク号はテルモピレー号を800マイル(1,300km)引き離していたが、ケープタウン沖で嵐に会い、舵が粉々になった。ムーディ船長は予定どおりのロンドン着を約束していたので、ケープタウンでのドック入りを拒否した。代わりに乗組みの大工に仮の舵を作らせ、海上で船に取り付けた。カティサーク号はテルモピレー号に遅れること7日間でロンドンに到着した。驚くべき離れ技である。乗組員は創意工夫とシーマンシップを發揮したにもかかわらず、船主はムーディ船長を解雇した。船長はスコットランドに戻り、残りの日々をスコットランド内の航海で過ごした。

蒸気船の発展にともない、カティサーク号および他のクリッパーの活躍は少なくなっていった。加えてスエズ運河の開通(1869年)は、中国からの航海日数をクリッパーでは太刀打ちできないほど短くした。(クリッパーは小回りがきかず、スエズは無風期が多いので運河を通れない)。しかしカティサーク号は終わったわけではない。彼女は1895年までオーストラリアからの羊毛輸送に従事し、実際にライバルたちに定常的に速い輸送期間を見せつけたのはこの時期であった。60日間をしばしば記録し、ある時は24時間で360ノット(時速28km)を航海した。カティサーク号は同じくらいの大きさの船の中で最速だったと公言した。—いいぞ、カティサーク！

1895年に彼女はポルトガルの会社に売られ、フェレイラと改名された。その後、さらに南アフリカの会社に売られてマリア・ド・アンパラという名前になった。1922年、ウィルフレッド・ダウマン船長が彼女を買い取り、オリジナルの状態に修復した。1954年以来、彼女はロンドン、グリニッジの乾ドックに置かれている。改装中の2007年5月21日の早朝、大火災が起こり、彼女の将来に暗雲がたちこめた。さいわいなことに、彼女を復元するために(国民からの多額の寄付とともに)驚くべき努力がなされ、いまカティサーク号はロンドン、グリニッジの博物館でそのすべての栄光を見ることができる。

カティサーク・ウィスキー

カティサークという名前はクリッパーで有名であるが、他の市販品にも用いられている。その1つがスコッチ・ウィスキーのブランドである。カティサーク・ウィスキーは1923年に生まれ、もともとワイン好きの顧客を対象にした、軽く、ピート・フリー(麦芽の乾燥にピートを使わない)のブレンドである。スコッチ入門用の酒でもある。カティサーク・ウィスキーは禁酒法時代(1920~33年)のアメリカに闇ルート用として大量に輸出され、その淡い色合いもあっていまも人気が続いている。

The original developers of Cutty Sark were Berry Bros. & Rudd, a London wine merchant, who used the Speyside single malt, Glenrothes as the basis for the blend.

The Cutty Sark brand was sold to Edrington in 2010 and then more recently to the French company La Martiniquaise.



カティサーク・ウィスキーの創業者はロンドンのワイン商、ベリー・ブラザーズ&ラッド社で、ブレンドのベースはスペイサイドのシングル・モルト、グレンロシスである。

カティサークの商標権は2010年にエドリントン社に売られ、現在はフランスのラ・マルチニケーズ社(フランスで第2位の酒類販売会社)が所有している。(日本における輸入・販売元はアサヒビール。一般品は ¥1,200 前後、写真の12年物は約 ¥8,000)

1788年10月1日（フランス革命の前年。モーツァルトが交響曲第40番を作曲。松平定信の寛政の改革始まる）

ディーコン・ウィリアム・ブロディが、エジンバラで多重窃盗の罪により公開絞首刑に付された。歴史に残る大群衆が処刑を見守った。作家のロバート・ルイス・ステイブソンはブロディの二重生活をもとに、心理・犯罪小説「ジキル博士とハイド氏」を書いた。だが、私たちはどの程度事実を知っているのだろうか？

ディーコン／職工組合長—この称号はエジンバラにおける職工組合の長を指している。

表向きの職業—家具職人。その地位がエジンバラ市の生活に影響を与えるほどであった。彼の作る家具はエジンバラ市で最高級の製品として知られており、ロバート・バーンズも彼の顧客の1人として知られていた。ブロディは優秀な錠前職人でもあった。



ウィリアム・ブロディ

最初の犯罪—1768年に銀行のドアの鍵をコピーし、800ポンドを盗んだとされている。

金持ちなのに火の車—1782年に父親が亡くなったとき、ブロディは現金で10,000ポンド、4つの家、そして家業を相続した。今日の言葉でいえば、ブロディは億万長者といえるが、豪華な生活を好み、2人の愛人と5人の非嫡出子がいた。そしてカードとサイコロ賭博にはまり込んでいた。

犯罪生活と逮捕—ブロディは客の鍵をコピーし、しばらく期間をおいてから貴重品を盗み取るという手口を定着させた。1786年にブロディはイングランド人のジョージ・ミスと出会い、2人はさらに2人を加え、組になって事務所や個人宅を標的にして盗みを働いた。もっとも由緒ある盗品はエジンバラ大学の儀式用職杖だった。1788年5月、物品税事務所から金品を盗み出そうとしたとき邪魔が入り、窃盗団は逃走・離散、ブロディは逃げ回ったがついに逮捕された。

裁判—裁判は21時間で終了した。

絞首刑—ブロディは1年前に自分が設計し資金提供した絞首台で、40,000人が見守る中、処刑された。

1706年10月3日（赤穂浪士の討入りから4年後。後に大奥大年寄となる江島25歳、事件が起こったのは8年後）

スコットランド議会でスコットランドとイングランドの合同条約に関する論戦が始まり、議論は合同法が可決される1707年1月まで続いた。スコットランド議会は1707年3月25日に閉会し、1999年5月12日まで、292年間再び開かれることはなかった。

1706年10月に合同条約の草案が公表されたとき、スコットランドの町や都市の路上で暴動が起こり、スコットランド議会の裁判官や議員が脅迫され、侮辱された。暴徒を捕えると報酬が提供され、警官や治安判事は必要な行動を取る権限を与えられた。



25条からなる条約は、経済、国旗、通貨、そして最も重要なのは王位継承に関するものであった。プロテスタントのハノーバー家（イングランド王家）は、カトリック教徒は王位継承から除外することを求めたのである。財政的には、スコットランドはイングランドの1,800万ポンドの国家債務を分担する代償として、40万ポンド近くを支払うことになっていた。記録はスコットランドの各州が破産状態にあることを示唆しており、経済的には、これはスコットランドにとって改善と見なすことができ、同様に、この決定が正当なものであったと見なすこともできる。

激しく感情的な議論があり、ソルトウーンのアンドルー・フレッチャー議員は、スコットランドの国民性を守るために連盟国家を提案し、統一化はスコットランドの長期的な利益を損ねると主張したが、賛同は得られなかった。

スコットランド議会在各条項について議論している間、国は分裂し、合同に賛成する者と反対する者で激論が交わされた。それらの条項とは、自由貿易、漁業権、税負担、関税、塩の専売などで、すべてが順番に議論された。塩を除けば、これらはすべて非常に馴染みのある案件である。

最終的に1月16日、条約を批准する法律がスコットランド議会で110票対69票で可決された。そして1707年5月1日、シーフィールド伯爵は「古い歌には終わりがある」と言ってスコットランドの独立の放棄に署名した。エジンバラ、セント・ジャイルズ大聖堂の鐘は、「結婚式の日というのになんで私はこんなに悲しいのだろう」という曲に合わせて鳴り響いた。

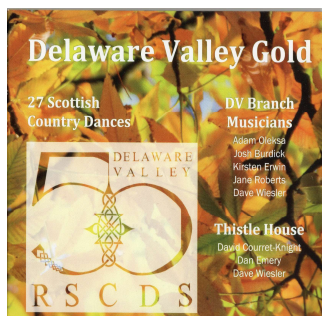
今日、旧議会議場は最高裁判所の一部になり、法律家たちの会合の場所となっている。

Delaware Valley Gold … ブックおよび 2 枚組 CD

Disc #1 Delaware Valley Branch Musicians (Adam Oleska – fiddle, Dave Wiesler – piano, and others)

Disc #2 Thistle House (David Courret-Knight – fiddle, Dan Emery – pipes, Dave Wiesler – piano)

CD #1			
1. Jane's Flying Cello (8x32R)	11. An Absurd Number of Cucumber Sandwiches (8x32J)	4. Off to Arden (8x32S)	
2. Trip to Tarble (8x32J)	12. Crum Creek Hornpipe (8x32R)	5. Carrie's Flight (4x32R)	
3. Bordeaux en Belle (8x32S)	13. Tarble-in-Clothier (3x32S)	6. The Pittsburgh Rake (8x32J)	
4. Seven Eights (8x32R)	14. Founders' Reel (128R SQ)	7. The Slingshot (8x32R)	
5. Lansdowne Strathspey (8x32S)	15. A Grand Year - Waltz	8. Longborough Lanterns (8x32S)	
6. Golden Jubilee Quadrille (160R SQ)		9. Sleepwalking (8x32R)	
7. Moylan Fan Club (8x32J)	CD #2	10. Cailín Rua (8x32S)	
8. Katherine Hamilton (8x32S)	1. The Fearsome Fivesome (5x32R)	11. Before the Storm (8x32R)	
9. The Morstein Hornpipe (4x32R)	2. Aflooga (4x32S)	12. The Wind's Twelve Quarters(8x32J)	
10. The Written Examination (3x32S)	3. The Garden Party Social (8x32R)	13. The Valley Over the Hill (8x32R)	
		14. Northern Lights - Waltz	



デラウェア川はペンシルベニア、ニュージャージー、デラウェア3州の境となる川で、1970年にペンシルベニア州のフィラデルフィア(略称フィリー)近郊でブランチが生まれたとき、この川にちなんでデラウェア・バレエ・ブランチと名付けたという。それから50年、会員と元会員が創案した24のダンスを1冊にしたものがこの Delaware Valley Gold である。

単に既存のフォーメーションを組み合わせただけ、というダンスもあるが、工夫がこらされているものが多い。1/2 rights and lefts を2小節でやれというストラスペイや、ダイヤゴナルの1/2 reel of four を left shoulder pass でやるリールもある。Bordeaux en Belle ボルドー・アン・ベルは中洲のベル島で結婚30周年をボルドー・ワインで祝ったというタイトルで、Follow Me Home に似た動きが特徴。An Absurd Number of Cucumber Sandwiches は料理持ち寄りのパーティ(ポトラッチ)で出された途方もない量のきゅうりサンドイッチをダンスで表した、とある。The Written Examination は2015年にイングリッシュ・カントリー・ダンス指導で来日したジェニー・ピア作のストラスペイで、踊りとしてはふつうの出来である。Golden Jubilee Quadrille はこのデラウェア・バレエ・ブランチのみならず北米全体の論客で、東京や長岡アンティーズでも指導したジェフリー・セリングのスクエア・リール。ジグザグのグランド・チェーンに特徴がある。160小節と長いが、1・3組がやった動きを、こんどは2・4組がやるという構成で、5x32として考えれば難ダンスではない。The Slingshot は、直訳すると玩具のば

ちんこのことであるが、カーレースで後続車が余力をかって一気に先行車を抜き去る戦術をいい、このリールでは Bars 1-8 が後者を表している。P.2 と P.3 に24ダンスの難易度表がある。経験者から見た難易度で、容易なダンスといってもビギナーズ・クラスの初日に取り入れるダンスではない。

ブランチが生まれて30年ほどは、私邸3階の舞踏室をボールやクラスの会場に使ったとのこと、p.37にその部屋の図がある。フィリーといっても、会員の住む地域は裕福な人々が住む近郊で、映画『ロッキー』(1976)の舞台となった下町とは大違いのところなのであろう。

それはともかく、ブックは計24ダンスなのに、CDはワルツを除いて27トラックある。プラスされている3トラックは40周年リーフレットからの3ダンスで、CD #1の第4と第14トラック、CD #2の第13トラックがこれにあたる。プラスの3トラックのダイヤグラムはインターネットで検索可能である。なお、ご注文をいただくブックは従来どおりの用語で表記されており、p.6のコマドリ、ヒバリで表記されたジェンダー・ニュートラル/性中立版ではない。ブックはダイヤグラムつきである。★★★【注文略号：デラウェア・ブック】

CD #1 は地元のミュージシャンによるアンサンブル。ローカル・ミュージシャンといえ、フィドル、木管、チェロ、ピアノそれぞれプロ級の腕前の持ち主で、ブランチ初回の、そして50周年記念のCDである。どのトラックをとってもここぞとばかりベストを尽くした意気込みが伝わってくる。私の感じからいえば、リール・タイムの演奏がよいと思う。このCDは多重録音で収録されており、その内幕はマガジン37号東京ブランチ版 p.30に詳しく述べられている。

CD #2 はデーブ・ウィースラーをリーダーとするフィドル、パイプ/木管フルート、ピアノからなるシスル・ハウスの演奏である。数トラックのパイプの音量は低めに

抑えられており、他の楽器の音が消されることはない。ストラスペイの演奏はやや単調で、リールとジグのほうが軽快でうきうきして体を動かしたくなる。*The Slingshot* の演奏はよいと思う。トラディショナルではウィリアム・マーシャルの曲を使っているが、2枚のCD

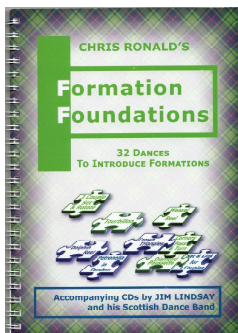
ともデーブ・ウィースラー作曲の音楽が多く、いわばデーブ・ウィースラー作品集である。紙ケース入り。

★★★ [注文略号：デラウェア CD]

CHRIS RONALD'S Formation Foundations … ブックおよび CD Jim Lindsay & his Scottish Dance Band

1. Avignon (6x32R) 〈Baratte〉
2. Sunshine Sally (4x32S) 〈Bourrel〉
3. Felicity's Frolic (8x32R) 〈1/2 Diagonal R&L〉
4. The King of Spain's Daughter (3x32S) 〈Espagnole〉
5. Hello Goodbye (8x32R) 〈Set to Coners & Partner〉
6. Dick Whittington (8x32J) 〈Corners Pass & Turn〉
7. Little Star (8x32S) 〈Strathspey Full Poussette〉
8. Dusty Bluebells (3x32S+32R) 〈Reel of Four〉

9. London Bridge (6x32S) 〈Rondel〉
10. The Mulberry Bush (3x32S+32J) 〈Set & Rotate 3〉
11. Jack Be Nimble (4x32J) 〈Spurtle〉
12. The Broadsword (6x32J) 〈Targe〉
13. Ding Dong Bell (3x32S) 〈Tourbillon〉
14. The Wheels on the Bus (3x32S) 〈Tournée〉
15. The Wild Wood (3x32R) 〈Weasel Reel〉



タイトルを直訳すると、フォーメーションの基礎。初級クラスを終え、より複雑なフォーメーション、例えば3-couple knot を指導しようとするとき、32小節中残りの24小節には複雑なフォーメーションのない方が望ましく、

Cuillins of Skye や The Siver Strathspey よりももっと単純な構成のダンスがほしくな

る。テーマとなるフォーメーションに注力し、それ以外ではできるだけ単純な動きでまとめたダンスの集成がこのブックである。CDは15のダンスを収録しているが、ブックのほうは合計31ダンスから成っている。すべてのダンスは、米国ニュージャージーから英国レスターシャーに移住したクリス・ロナルド (Broadway, MacDonald of Keppoch, Slytherin House の作者) が創案したものである。上記の表で〈・・・〉で示したフォーメーションがそのダンスのテーマである。上記のほか、Crown Triangles, Dolphin Reel や Rose Progression などの入ったダンスが含まれている。内容を単純化するため、Hands round & back の入ったダンスが16ある。要約すると、フォーメーションを練習するためのブックといえる。

ストラスペイで踊られる Tourbillon や Rondel、リール/ジグで踊られる Spoke などは別にして、踊り方説明書きにリール/ジグ/ストラスペイのリズム記載がない。ブックの序文にあるとおり、CDは便宜上特定のテンポで収録しているが、このブックのダンスはどんなテンポで踊ってよい、どのトラックを使ってもよいと作者

はいつている。Targe をストラスペイで踊るのもおもしろい。全ダンスにティーチング・ポイントと間違いやすいポイントの一覧表があり、ダイヤグラムがついている。フォーメーションを練習するのによく考えられたブックである。巻頭の目次はフォーメーション順、巻末の目次はダンス・タイトル順になっている。★★★★ [注文略号：ファンデーション・ブック]

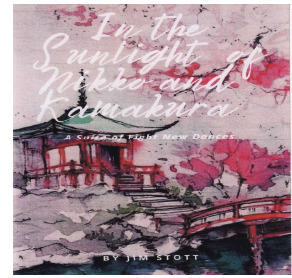
CDは、いま脂が乗っているジム・リンジーが率いるバンドの演奏。2アコーディオン、2フィドル、ピアノ、ドラムスの編成で、どのトラックをとっても6人の演奏者が融合し、力強くしかも軽快、ある個所では抒情的に演奏している。15トラックを連続して聞いても、疲れたり、あきることがない。「アビニヨンの橋の上で」、「ロンドン橋落ちた」のわらべ唄があるかと思えば、スコット・スキナーやウィリアム・マーシャルのまっとうなストラスペイもある、ミュリエル・ジョンストンの Windsor も入っている。

スコティッシュ音楽の信奉者からすれば、蹴っ飛ばしたくなるようなトラックが「Hello Goodbye」である。Book 51 の同名ダンスのリール・バージョンであるが、このトラックはブロードウェイ・ミュージカルの名曲集で、「サウンド・オブ・ミュージック」から3曲、「メリー・ポピンズ」から2曲、「マイ・フェア・レディ」、「オクラホマ」、「スイート・チャリティ」からそれぞれ1曲を持ってきている。CDは15トラックであるが、ブックの31ダンスをカバーできる。フォーメーション練習用にも、録音のない他のダンスにも使える高品質のCDである。プラスチック・ケース入り。★★★★ [注文略号：ファンデーション CD]

In the Sunlight of Nikko and Kamakura … ブックおよび CD

A Suite of Eight New Dances by Jim Stott

Scott Band & his Scottish Dance Band



- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| 1. Warm Up Waltz | 6. A Trip to Kamakura (8x32S) |
| 2. Kotoku-in 高德院 (8x32R) | 7. Sagami Bay (8x32J) |
| 3. Toshogu Shrine 東照宮 (8x32J) | 8. Autumn Colours at Nikko (4x32S) |
| 4. Welcome to Japan (8x32S) | 9. The Koi 鯉 Medley 4x(32S+32R) |
| 5. The Nikko Falls (4x32R SQ) | 10. Polka |

ジム・ストット作の8ダンスを収めたダンスブックである。ジムは2020年春、日光で開催される東京ブランチのウィークエンドに招かれたが、その準備のさなかにCOVID-19が起こった。パンデミックはジムの日本行きを4年間とどまらせた。会場が日光から鎌倉に変る4年間にジムはサマースクール校長を務めるかたわら、8ダンスと4つのチューンをまとめたのである。

Kotoku-in は15世紀に上屋が倒壊した銅製大仏が鎮座する「高德院」をタイトルにしている。Bars 5-8で1Cが1st cornersをキャストラウンドし、2Cまたは3Cの間に入るところは、短足の日本人にはあと1barほしい距離である。Toshogu Shrineは、1Cがセットの内側でcornersとプロミナードになったりリリースしたり、を続けるのがおもしろい。Welcome to Japanはビギナーズ向きのストラスペイ。The Nikko Fallsは落差97米の華厳の滝のことで、bars 17-24で2Cと4Cがセットの内側でset and rotateを4bars、ついでhalf rights and leftsを踊るところが技ありの工夫で、経験あるダンサーに好まれるスクエア・リールである。

カリフォルニアからの波が打ち寄せ、サーファーたちに愛される鎌倉の外海がSagami Bayである。Bars 9-16はミラーのallemandeを4bars、ついでleft hands acrossであるが、ここでリーダーはクラスでしっかりとデモし、丁寧な説明を行うべきである。

Autumn Colours at Nikkoは紅葉の美しさをタイトルにしている。紅葉が山頂から発し、やがてふもとに至るさまをダンスにした、と言えなくもない。Bars 17-24はturn corners and partnerと言ったほうがクラスにはわかりやすい。Bars 29-32は、1Cと4Cはset and half right hands acrossで踊るとよい。The Koi Medleyはストラスペイとリールのメドレー。1Cは28小節のシークエンスをopposite sidesからスタートするのがおもしろい。

各ページにきれいなイラストがある。日本人からすれば、これは日本の光景ではなく中国の風物である。描いたのはジムの親友、The Insurance Man from BAことチャーリー・カンディア、裏表紙右端の男である。日本の真下からトンネルを掘ってゆくと達する国、アルゼンチンの人なので、このイメージも無理はない。逆に日本人が持っているアルゼンチンのイメージもあやふやである。

40周年であるが、東京ブランチは記念の自前出版物はなく、ロゴ入りTシャツも作らなかつた。いわばこのジム・ストットのダンス集が40周年の記念ブックに相当するといえる。すてきな誕生日プレゼントをありがとう、ジム。★★★★【注文略号：ジム・ストット・ブック】

音楽はBook 50に登場したスコット・バンドのバンドが演奏している。Book 50の演奏に比べ、高音の伸びと音楽上の遊び（装飾）が少ないように感じられるが、その代わりにしっかりしたテンポと諸楽器の融合がある。ジムは前述のとおりオリジナル・チューンを4曲提供している。軽快で明るい演奏は、どのダンスにおいてもダンサーを楽しませるであろう。

演奏はmp3フォーマットでUSBに収められている。日本の各クラスにおいてははまだCDプレイヤーが主流であり、USBは使えない。かつ、バンドの楽器構成とメンバー名、さらにオルタナティブ・チューンの詳細がUSBではわからず、不許複製の文言もない（ダンサーたちにとってはどうでもいいことなのかもしれない）。

USBでは手も足も出ない方のために、ブランチはこれをCD化した（カット写真）。USBであるがゆえに入手をきらめた方はCDをご注文されてはいかがでしょうか。★★★★【注文略号：ジム・ストット CD】

* * * * *

ご注文は注文略号、数量、金額を明記のうえ、郵便振替 00240-0-63517 東京ブランチでお申し込みください（送料込み）。

デラウェア・ブック	¥3,900
デラウェア CD	¥6,000
ファンデーション・ブック	¥2,500
ファンデーション CD	¥3,700
ファンデーション・ブック+CD	¥5,600
ジム・ストット・ブック	¥3,800
ジム・ストット CD	¥600

ショップ担当 大野宏子 042-576-9587

締切り 3月8日（金）

（締切りを過ぎての送金をご遠慮ください）

お渡し予定 4月中旬